

第10次笠岡市行政改革大綱(素案)に係る意見等に対する市の考え方

番号	素案 ページ	項目 (該当箇所)	質問・意見	市の考え方
			(原文)	
<b>【VI 行政改革の重点項目に関するもの 3件】</b>				
1	P7	1 デジタル技術を活用した行政サービスの提供	第10次行政改革大綱(素案)の方向性には賛成する。とりわけ、DXを活用した市民サービスの向上と人材育成を横断的に位置付けた点は妥当である。	今後、行政改革大綱に基づく実施計画を作成する中で、御意見を参考に具体的な取組内容を検討してまいります。
2	P7	1 デジタル技術を活用した行政サービスの提供	パブリックコメント受付はWebフォームを基本方式に改めるべきである。現行のように、Word添付、手書きPDF、任意様式を併用する方式では、提出データの形式が統一されず、集計・分析・保管に余計な事務負担が生じる。手書き文書は内容確認やデータ化が必要であり、Eメール添付も受信確認、添付漏れ確認、ファイル整理などの追加作業を招く。行政改革で業務効率を掲げる以上、意見募集の入口自体を標準化し、分析可能な形で収集すべきである。	御指摘のとおり、行政改革においては業務の効率化は必須であると考えております。今後、行政改革大綱に基づく実施計画を作成していく中で、いただいた意見を参考に具体的な取組内容を検討してまいります。
3	P7	1 デジタル技術を活用した行政サービスの提供	DX推進計画は、住民に最も近い現場人材の育成を具体化すべきである。高齢者向けにスマホ教室やオンライン手続相談窓口を設けても、日常的な困りごとが生じた際にまず相談を受け付けるのは、月に数回の外部講師ではなく、支所や公民館等の職員である。したがって、デジタルデバイス対策は講座開催だけで完結しない。住民と日常的に接する職員を、デジタル活用支援の前線人材として位置付け、研修内容と支援体制を具体化すべきである。	デジタル技術を活用したサービスの受け手の側をサポートすることは重要な視点であると考えております。今後、行政改革大綱に基づく実施計画を作成していく中で、いただいた意見を参考に具体的な取組内容を検討してまいります。
4	P7	2 効率的・効果的な行政運営の推進 ⑨学校規模の適正化	少子化の減少に歯止めがかかりませんが、適正化の名のもとに、広域の中に1か所にまとめるのは、本当に子ども達の成長にとっていいことだろうか。教育改革の良悪は10年すぎないと、その良否はできません。自然の中で成長し、少しずつ行動範囲が拡がり、その中で、生きる力、考える力を身につけることが大切。今の時代、情報があふれ、便利になりましたが、暴力や死亡事件など、ふえています。ルソーやペスタロッチの教育背景を、現在の教育に再度とり入れる構想をしていただきたい。各地で、ひろがっている夢の学校、笠岡にもあっていいと思う。	本市の学校規模適正化計画では、中学校については、一定規模の集団を経験することが、これからの社会を生き抜くために必要な力を育てることに資すると考え、クラス替えが可能な学校を市内2校維持することとしております。一方で、小学校については、複式学級ができるまでは地域と連携した教育を進めるために、できる限り存続させるという方針です。また、神島外小・中学校を特認校として残し、小規模校のメリットを生かした教育を継続したいと考えています。将来を見通し、持続可能で特色ある教育を行っていくために、本計画を改訂しました。
<b>【全般に関するもの 1件】</b>				
5	-	-	全くこのような(素案)と意見書もあるとは知りませんでした。えらそうな事を書きますが市民を平等に…。99人の賛成意見も大切ですが1人の反対意見も大事にするのが民主主義の原点とも考えておりますので今後何卒宜しくお願いいたします。行政改革は今から40数年前に土光敏夫(岡山県出身)氏がなされました。その時の事よく調べて勇気を持ってして頂ければありがたいです。小生も最初の会社に入社した折から十数年頑張っってやっとトップが理解して頂ける人がいてくれて少しは会社が社員が変化しました。少しでも明るく勇気を出して感謝と謙虚さとそして〇〇〇〇さ(考えてみてください)汗と涙で…。	今後、行政改革大綱に基づく実施計画を作成する中で、御意見を参考に具体的な取組内容を検討してまいります。